

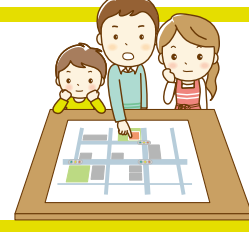


特集 防災 あなたのとるべき行動は？

	警戒レベル	避難情報など	避難行動（とるべき行動）
大 危険度 小	警戒レベル 5 〔市が発令〕	災害発生情報	既に災害が発生しています。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。 
	警戒レベル 4 〔市が発令〕	避難勧告・ ※避難指示(緊急)	速やかに避難 しましょう。 避難先までの移動が危険と思われる場合は、近く の安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。 
	警戒レベル 3 〔市が発令〕	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人 (ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難 をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル 2 〔気象庁が発表〕	大雨注意報 ・ 洪水注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。 
	警戒レベル 1 〔気象庁が発表〕	早期注意情報 (警報級の可能性)	今後、大雨警報などが発表される可能性があります。 災害への心構えを高めましょう。

- 災害が起こった時にまず最初に避難する場所 ()
- 余裕があるときに避難する場所 ()

《会長あいさつ》



※防災キャンプで着用

今年度も活発なPTA活動、誠にありがとうございます。今回は、教育振興助成金事業について御紹介させていただきます。教育振興助成金事業とは、郡市PTA連合会が主催・共催する特色あるPTA活動に対して、愛媛県PTA連合会が助成金をもって支援する事業です。

先日、西予市PTA連合会の研究大会では、本事業の報告がありました。報告内容は、2018年度に実施した「ドラムサークル」と「クリスマスコンサート」についてでした。「PTAが主体となり、地域を盛り上げたい」との思いが伝わる素晴らしい発表でした。2018年度に教育振興助成金事業として始まった「ドラムサークル」ですが、今年度は助成金を活用せず、自主財源をもって成功させたことを知り、西予市三瓶地域に本事業の「目指すべき姿」を見つけた瞬間でした。今後も本事業をきっかけに各郡市においてPTA活動が益々活性化することを強く願っています。

2020年も明るく楽しいPTA活動を心掛け、愛顔(えがお)あふれる子どもたちのために頑張ります。

愛媛県PTA連合会 会長 行天 雅史
ぎょうてん まさし

編集後記

第83号「PTAえひめ」は8月に実施した防災活動研修事業をメインに構成しました。親子防災キャンプに参加した子どもたちも多くの事を学んだと思います。参加できなかった人達も含め日頃から「備えあれば憂いなし、家族で高める防災意識」を心掛けたいものです。



AIG損保

AIG損害保険株式会社 松山支店 <https://www.aig.co.jp/sompo>
愛媛県松山市三番町4-8-11 富士火災松山ビル4F
TEL:089-946-3815 (代表)

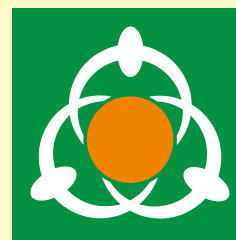


SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、進む。
損保ジャパン日本興亜

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
愛媛支店 法人支社
〒790-0011 愛媛県松山市千舟町4-6-3
電話：089-943-1917

広報委員

委員長	織田 真吾	副委員長	高瀬 昌典
委員	大西 祥一	委員	山本 肖子
委員	古見 康浩	委員	田房 克寿
委員	松森 祥裕	委員	松井 成樹



PTAえひめ

第83号 令和元年12月15日
発行:愛媛県PTA連合会
〒791-1136
愛媛県松山市上野町甲650番地
愛媛県生涯学習センター内
TEL:089-963-4237
<http://www.ehimepta.jp/>

防災活動研修事業

特集 「防災キャンプ」報告

～学び続けることの大切さを学ぶ～

愛媛県PTA連合会防災活動研修事業 ～親子防災キャンプ～

宇和島市立吉田中学校にて

8月10日(土)～11日(日)、宇和島市立吉田中学校を会場に、県P連の防災活動研修事業として「親子防災キャンプ」が開催され、県内の小・中学生と保護者をはじめ、県P役員や郡市事務局、ボランティアなど、51名が参加しました。

本事業は平成28年度より実施され、東日本大震災の被災地の一つである岩手県陸前高田市に赴き、被災地の“今”を学ぶために活動を続け、これまでに述べ63名の中学生が参加してきた事業でしたが、昨年度の「平成30年7月豪雨災害」を受け、愛媛県内在住の中学生やその保護者に、「7月豪雨災害の甚大な被害からの復興の状況を直接感じ取ることで、自分たちができることを考えて欲しい。被災地の方々と交流することで、被災地の方々と共感しながら歩いていく生き方を考えて欲しい。」との想いで、今年度は岩手県陸前高田市から愛媛県宇和島市へと場所を変更し実施されたものです。



防災キャンプの日程で主な内容として、1日目は、吉田中学校の前校長であり、被災時に校長であった西村久仁夫先生による講演。講演内容は正に吉田中学校が被災したときの状況や、被災後の一年間、吉田中学校やそこに関わる人々が復旧・復興に向けての活動の紹介、そしてこれからの思いなどを、数々のエピソードを交えてお話してくださいました。

日本赤十字社による防災学習会として、救急処置法やリラクゼーション体操などの体験学習を学び、更には避難所等で活用できるダンボールベット作成及び体験をしました。

なかでも吉田中学校の生徒の皆さんとの交流会では、グループに分かれて被災当時の緊迫した状況や不自由だったことなどの話や、今にして思うことなどをそれぞれ真剣に話し合われておりました。



さらにはバスで移動しての復興現場見学では、大規模な土砂災害に見舞われたみかん園地を見学し、その被害の大きさや復旧の困難さを目の当たりにもしました。

食事は初日の昼食・夕食とも防災食ということで、非常時に役立つ缶詰のパンや様々なレトルト食品、即席麺などを活用しました。

正に災害レベルとも言える猛暑のため、参加者の体調を考慮し、当初予定であった体育館での宿泊はホテル泊に変更したも

の、その分英気を養い、体力充分に迎えた2日目は、自衛隊との活動が主な内容でした。

陸上自衛隊の協力を得て、ロープワークを学んだり、ジープの乗車体験や、これから活躍が増えるであろうドローンの実演や体験をはじめ、座学として自衛隊の活動紹介などを学び、特別で専門的な組織の必要性を感じたりもしました。

また「ハイゼックス炊飯」体験では、緊急時にお米を炊く技を体験し、自衛隊の車両で一度に数百人分の食事が作れるという特殊車両で作ってくださった美味しいカレーとともに昼食を取りました。

他にも地元で活躍を続ける様々な組織・団体の方々の講話やワークショップなど、2日間のなかで多岐にわたる内容で大変充実した活動を展開することができました。



愛媛県PTA連合会では、今回参加された中学生はもとより参加者全員に事後のレポートの提出をお願いしたところ、それぞれに学び感じたこと、気づいたこと、これからの思いなど、実に素晴らしいレポートが寄せられたため、これを冊子にまとめ、情報共有のうえから県内各単位PTAに一部ずつではありますが、配布をさせていただきます。

どうか折に触れてこの冊子をご覧ください。参加者の学びを共有できることばかりでなく、いつくるか分からない災害に向けての心の備えにも役立つものと存じます。

愛媛県PTA連合会による防災活動研修事業は今後も活動の継続を計画しており、内容は精査を重ねつつ常に磨かれた研修事業を行ってまいります。



どうか、学び続けることの大切さをご理解いただき、ご案内いたします。次回開催時には、多くの方々のご参加をお願いいたします。

「愛の手で未来を築くPTA」第65回愛媛県PTA大会

令和元年11月9日(土) 四国中央市妻鳥町 しこちゅ〜ホール

全体報告

愛媛県PTA連合会 理事 田房 克寿
(東温市PTA連合会)

講演報告

愛媛県PTA連合会 教員理事 古見 康浩

【演題】「ヒトの見方」

〈講師〉東京大学名誉教授 養老 孟司氏

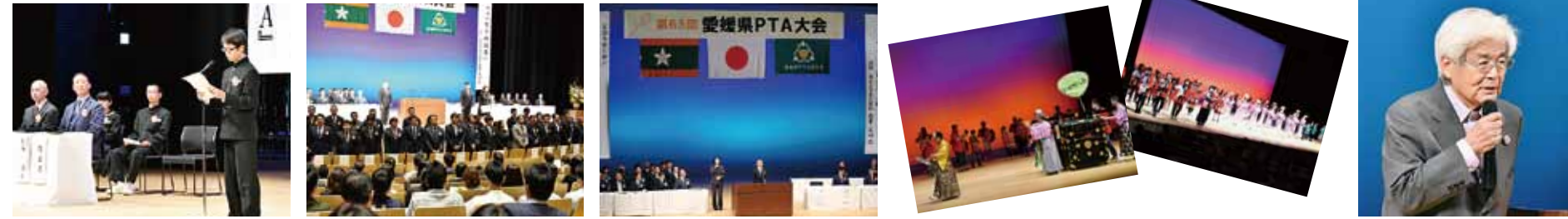
令和元年度の県PTA大会は、11月9日(土)今年8月にオープンした、できたばかりのしこちゅ〜ホール(四国中央市妻鳥町)で開催されました。約1000人が参加し、金田婦人会おどり連による四国中央紙踊りの活気あるアトラクションで幕開けし、開催行事で表彰状の授与などが行われました。その後のPTA活動実践発表では、今年の夏に吉田中学校で開催した「親子防災キャンプ」についての発表が行われました。県PTA連合会防災活動研修事業統括部長からキャンプの目的や概要が説明された後、参加した中学生3名から、今回のキャンプを通して感じたことなどの発表がありました。「平成30年7月豪雨災害」で被災し、復興に向かっていく宇和島市吉田町の“今”を目で見て肌で感じ耳で聞くことによって、たくさん生きた学びがあったことをそれぞれに述べていました。

最後に東大名誉教授の養老孟司氏の講演では、「ヒトの見方」という演題で現代社会の状況から、AIなどを含めた未来予測を話され、多様性の重要性をライフワークにしている昆虫研究の話をお聞きいただきました。

エントランスホールにおいては、平成30年度広報紙コンクール受賞作品、令和元年度三行詩コンクール入選作品の展示も行われました。

これからも、県PTA連合会の「種を蒔き、花を咲かせる活動」を通して、参加した小・中学生たちが、将来、各地域の果実となって、活躍していくことを切望しながら、これからも活動を継続していく予定です。

最後に、当日エントランスホールにて行われた「台風19号の被災地への募金活動」にご協力をいただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。



おめでとうございます

令和元年度 愛媛県PTA連合会表彰者

文部科学大臣表彰 優良PTA

郡市名	団体名
松山市	松山市立番町小学校PTA
四国中央市	松柏小学校PTA

※団体名は、各単位PTAの会則に基づいたものです。【令和元年11月15日表彰】

日本PTA全国協議会長表彰 優良PTA

郡市名	団体名
新居浜市	新居浜市PTA連合会
松山市	松山市小中学校PTA連合会

※団体名は、各単位PTAの会則に基づいたものです。【令和元年11月15日表彰】

優良PTA愛媛県教育委員会教育長 愛媛県PTA連合会長連名表彰

郡市名	団体名
四国中央市	四国中央市立川の江北中学校PTA
新居浜市	新居浜市立大生院小学校PTA
新居浜市	新居浜市立東中学校PTA
西条市	丹原東中学校PTA
今治市	今治市立近見小学校PTA
今治市	菊間中学校PTA
松山市	松山市立たちばな小学校PTA
松山市	松山市立石井東小学校PTA
松山市	松山市立北久米小学校PTA
伊予郡市	佐礼谷教育後援会
伊予郡市	岡田中学校PTA
上浮穴郡	父二峰幼稚園・小学校PTA
大洲市	喜多小学校PTA
喜多郡	内子小学校PTA
八幡浜市	真穴小学校PTA
西予市	西予市立三瓶小学校PTA
宇和島市	宇和島市立番城小学校PTA
南宇和郡	僧都小学校PTA

※団体名は、各単位PTAの会則に基づいたものです。【令和元年11月9日表彰】

日本PTA全国協議会長表彰 PTA功労者

郡市名	氏名
西条市	一色 政人
西条市	處 淳子
八幡浜市	田中 広志
南宇和郡	山本 肖子

【令和元年11月15日表彰】

PTA功労者愛媛県教育委員会教育長 愛媛県PTA連合会長連名表彰

郡市名	氏名
四国中央市	森 實 大知
新居浜市	神野 恭多
西条市	處 淳子
今治市	伊藤 琴未
松山市	河崎 元
松山市	吉川 陽子
伊予郡市	三塚 優
大洲市	山本 英二
大洲市	大野 拓也
八幡浜市	松井 成樹
宇和島市	岡本 慎二
宇和島市	松本 正義
宇和島市	佐々木 茂

【令和元年11月9日表彰】

四国ブロックPTA協議会長表彰

郡市名	氏名
新居浜市	渡邊 誠一

【令和元年10月13日表彰】

PTA活動振興功労者知事表彰

郡市名	氏名
四国中央市	大西 誠治
越智郡	田房 友典
八幡浜市	田中 広志

【令和元年11月9日表彰】

愛媛県PTA連合会長功労者感謝状

郡市名	氏名
四国中央市	石川 賢吾
新居浜市	古川 拓哉
新居浜市	藤田 一十百
西条市	岡子 忠範
今治市	村上 眞由
今治市	村上 嘉一
今治市	鳥井 亮良
松山市	森 恵美
松山市	松原 淳也
松山市	正 鑄 真一
東温市	松本 司
伊予郡市	三塚 優
伊予郡市	重川 卓也
大洲市	寺坂 弘司
大洲市	柴田 圭二
喜多郡	都築 弘二
八幡浜市	玉岡 美樹
西宇和郡	阿部 孝志
西予市	佐藤 祐樹
宇和島市	三好 めぐみ
宇和島市	平田 敦子
南宇和郡	立石 和子

【令和元年11月9日表彰】

「たのしい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～ 三行詩

入賞者・作品一覧 今年もすばらしい作品をありがとうございました。

小学生の部

入選

- やーめた スマホ見ないで 顔見て話そう
新居浜市立西宮小学校 6年 丸山 愛菜
- 私が笑うと父が笑う 父が笑うと母が笑う
笑いがたえない家族の輪
新居浜市立船木小学校 6年 高橋 理世
- 家族みんなで「おやすみ」の字2つ
きょうきゅうだけどほくの幸せ時間
上島町立岩城小学校 4年 亀井 哲朗
- かあちゃん喜んでくれたうさぎの本
わたしがいもうとにもよむかね
松山市立石井小学校 2年 長尾 律歩
- お母さんの口ぐせ「だじょうぶ、だじょうぶ」は
僕にとって一番の薬 お母さん名区だ
東温市立南吉井小学校 6年 織本 鼓太郎

佳作

- テストの×はいやだけど カレンダーならうれい
じいじばあばに もうすぐあえる
新居浜市立松岡小学校 1年 恩田 弥生
- 弟は新入生 ふえたのは弟といっしょの時間
そして弟が持てない荷物
西条市立中川小学校 5年 越智 翔
- 我が家のルール家族読定書 親のけんかが悲しくて、ほくが考えた
みんながサインしてくれて守ってくれる大切な一枚の紙
松山市立久米小学校 6年 石川 麗
- 私を産んでくれて ありがとう
しょうらい私の子どもも そう言ってくれるかな
東温市立南吉井小学校 5年 石田 翼
- 足のサイズがカーちゃんにおいづいてきた
もうすぐおいぬぞ 大きくなったらオレが守ってあげる
松前町立松前小学校 4年 河本 銀之介

中学生の部

入選

- 心が壊れているとき 「一人にして」と口で言い
「側にいて」と心が言う
西条市立西条東中学校 3年 宇佐 つくむ
- 家族の足音 それだけで
誰が歩いているのか 私は分かる
東温市立川内中学校 3年 高橋 柚葉
- 妹よ、私が「分からない」と言う問題を
「見せてみな」と上から言うのはどうなんだ？
東温市立川内中学校 1年 香渡 優奈
- ダイエットを宣言
ただおいしいご飯を得意なお母さん いじわるです
久万高原町立久万中学校 2年 飯本 祐希
- ケンカして 謝るかわりに お手伝い
久万高原町立久万中学校 2年 松田 大翔

佳作

- ほくの目覚まし時計 母さんの声に
いつ勝てるのか？
四国中央市立土居中学校 2年 工藤 蓮
- 兄は頭がよくてしゃかりいて 私とは真逆だけど
「顔」と「味の好み」はちよっぴり似ていて
きょうだいなんだって一人嫌しくなっている
東温市立重信中学校 3年 藤岡 奈那子
- 「ごめんね」と何回も言われるより
1回の「ありがとう」の方がうれしい 僕はやりたくてやっただけだから
八幡浜市立八代中学校 2年 福島 駿
- 思っただけじゃダメ 声に出して伝えなきゃ
ぶつかる時があっても大丈夫
八幡浜市立八代中学校 3年 藤田 楓華
- 「ありがとう」「ごめんね」少し照れくさくて言えない反抗期、
でも言って深まる家族の絆。
西予市立野村中学校 2年 兵頭 優月

大人の部

入選

- いつかきっと笑って話せる日が来るさ
水害で気づいた 家族の絆
西条市立西条東中学校 久保 拓也
- 私の杖を母ちゃんのおいがするー とうばい合う長男次男。
そのうち 加齢臭と言われるんだろうな
西条市立小松中学校 土岐 真奈美
- 「後そらえて！」 あわててめいた靴
我が子になおされ、言葉なし
今治市立日高小学校 長野 香理
- 押し付けず 求めすぎず 先回りせず 見守りながら
認め加まし いつも一番の味方でありたい
松山市立石井小学校 尾澤 優子
- 「眠れなれ」しくていく息子を送りかけては
母さん そろそろ「子ばなれ」してよと遠い口えされる
今日この頃・・・
東温市立川内中学校 八木 真樹

佳作

- 抱っこして!! 待ってましたと 抱きしめる
西条市立中川小学校 近藤 佳子
- 毎朝早く卵焼き 毎晩洗う空の弁当箱
明日は息子の好きなりつごも入れる
西条市立西条東中学校 白石 京子
- 「忙しいからまた後で」
子供のころ自分が一番嫌いだったこの言葉
小さな約束を守ることは大きな「絆」への第一歩
松山市立余土小学校 徳永 太一
- もうすぐ高校生になる息子に「何が一番楽しみ？」と聞くと
「お母さんのお弁当！」とニコリリ そして私も照れ笑い
松山市立笠岡小学校 近藤 美和
- 優しい言葉は人を天使にさせ、
いじわるな言葉は人を悪魔にさせる。見えない言葉は恐ろしい
内子町立五十二崎小学校 井上 由加里

令和元年度 愛媛県PTA連合会長賞受賞作品 「小・中学生のふるさと学習作品展」受賞おめでとうございます。

※愛媛県PTA連合会は、後援及び特別賞を交付しています。詳しくは、愛媛県生涯学習センターホームページ「ふるさと学習作品展」をご覧ください。

壁新聞の部

伊予市の削り節 御三家
愛媛大学教育学部 附属中学校 第1学年 藤原 花蓮さん

レポートの部

愛媛県最初の獣医師 飯尾 平太
今治市立立花中学校 第2学年 矢野 帆華さん

第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に参加して

令和元年8月23日(金)・24日(土)

大会スローガン

つなげよう「いのち」のバトン！ ～次世代に生き抜く子どもたちへ～

令和初の「第67回日本PTA全国研究大会」が兵庫県で開催されました。第1日目は県内10か所、子どもの成長や学校生活、PTA活動に必要な多岐にわたるテーマの分科会が開催され、それぞれ会員のみなさんは興味ある分科会に参加し、気づきをいただき、想いを深めることができました。

第2日目、全体会は神戸市で開催されました。平成7年に阪神・淡路大震災が発生し、来年で25年を迎える場所です。大会スローガン「つなげよう「いのち」のバトン 次世代に生き抜く子どもたちへ」とあり、日本PTA全国協議会の佐藤会長のごあいさつの中にも、「いのちのバトン」というフレーズがありました。私たちが「いのちのバトン」を次世代につなげていくためにも、親、家庭、地域、そしてPTAが果たす役割が重要だと改めて感じることができましたし、役割を果たすために具体的に行動をしていかなければならないと思いを新たにしました。

そして、全体会記念講演はメンタリストのDaiGoさんでした。「子育ては、心理学でラクになる」という演題のとおり、気持ちが軽くなる講演でした。ご自身が小学校から中学校までいじめられていた体験について、心理学的分析を交え語っていただきました。

また、今回の講演では、かなりの時間を参加者との質疑応答に割っていただきました。子育ての質問や悩みにも、心理学の統計や論文の根拠となる数値を交え具体的に、そしてユーモアを交えた回答に会場が一体となり、時間を忘れるくらい、講演に引き込まれました。神戸で過ごした2日間では、伝えたいことがたくさん生まれ、大変有意義な時間を過ごすことができました。



愛媛県PTA連合会 副会長 大西 祥一
(伊予郡市PTA連合会)